

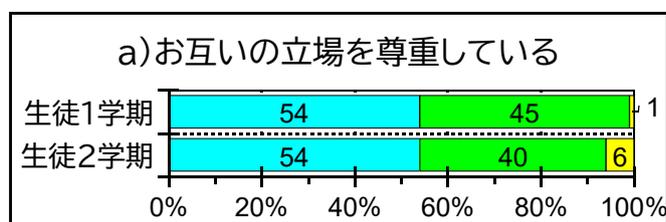
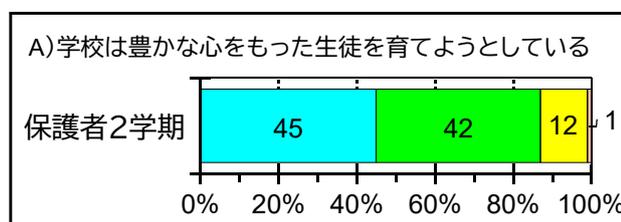
特集 1 生徒・保護者 学校評価アンケートの報告

回答期間 令和7年11/21（金）～12/5（金）

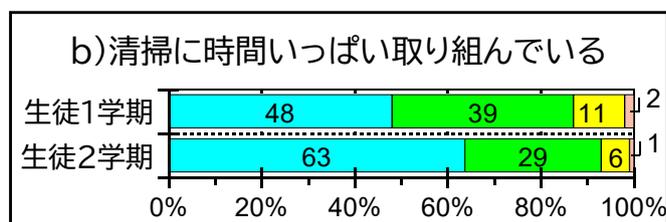
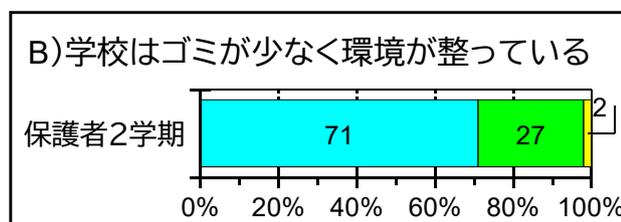
保護者の皆様、学校評価アンケートへのご回答、誠にありがとうございました。いただいたご意見を参考にしながら、よりよい学校づくりに活かして参ります。主な結果をご報告させていただきます。

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

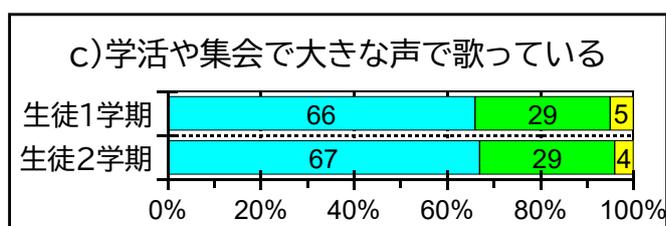
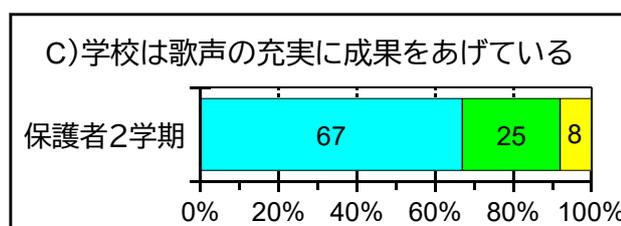
1 健全な学校環境をつくるために



豊かな心をもち多様性を認めながらお互いを尊重する。これは、集団生活においてもっとも大切なことだと考えています。これらの評価が「高い」か「低い」かの判断は難しいですが、「(あまり)そう思わない」生徒や保護者がいらっしやることを念頭におきながら、今後も全教育活動を通じて、向上を図って参りたいと思います。



学校の環境については保護者の皆様より高い評価をいただいたと思います(グラフB)。生徒の清掃への取り組みは1学期よりはるかに向上しています(グラフb)。「職員も生徒と共に」を合い言葉に清掃に取り組んでいます。また、全校美化活動を年に2回実施しました。PTA作業では保護者の皆様にも多大なるご尽力をいただきました。ありがとうございます。今後も気持ちよく生活できる学校環境を生徒と共につくっていきたいと思います。



歌声についても生徒、保護者でほぼ同様の結果となりました。どの学年も毎日の学活で合唱活動を取り入れています。音楽の授業に意欲的に取り組む生徒も多いです。卒業式などの儀式、音楽集会、文化祭等での歌声はわずか数十人の合唱とは思えないほどの迫力と美しさです。青木中の教育活動の柱の一本ですので、仲間と心を合わせながら一曲を仕上げていく合唱活動をこれからも大切にしていきたいです。

2 生徒が主体的に学びを深めていくために

どの教科の授業も落ち着いた雰囲気で行われていると思います。そして、グラフdからわかるように、多くの生徒は、向上心をもって取り組んでいることがわかります。

また、グラフeでは、グループでの活動において、積極的に仲間の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりしている生徒がとても多いことがわかります。

この2つの結果からは、「できるようにしよう」「わかるようにしよう」という向上心を持ち、仲間といい関係を築きながら学習に向かっている生徒が多いことがうかがえるのではないのでしょうか。

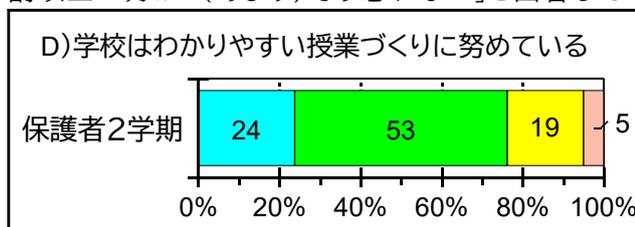
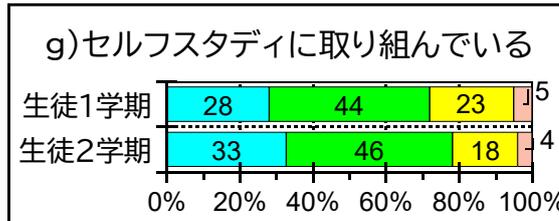
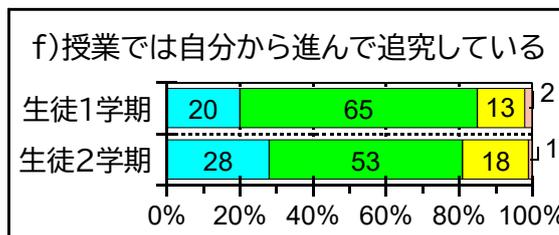
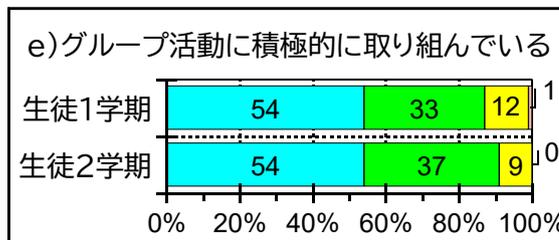
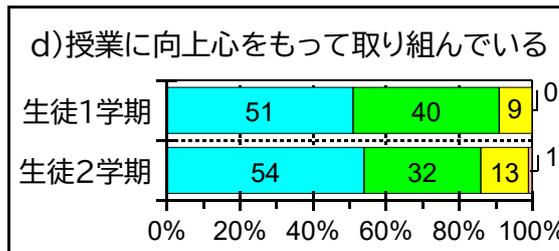
ただ、およそ1割程度の生徒が「(あまり)そう思わない」と回答していることを見逃してはおりません。

また、「授業では自分から進んで追究している(グラフf)」について、「(あまり)そう思わない」生徒の割合が1学期よりも増加しています。学年ごとに見ると、2,3年生は1学期よりも向上しましたが、1年生に下降が見られました。

さらに、グラフgをみると、セルフスタディに取り組んでいる生徒の割合が全体としては若干向上しています。しかし、受験を控えた3年生の割合が著しく向上した反面、1,2年生は下降しているというのが現状です。

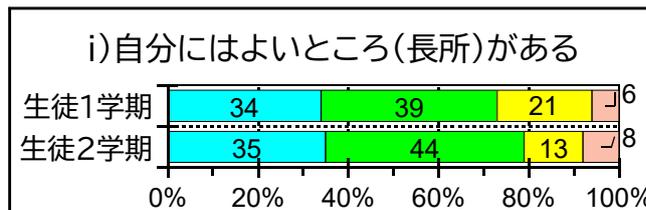
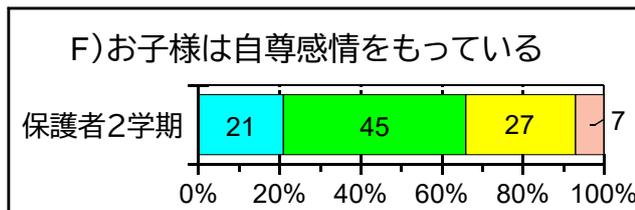
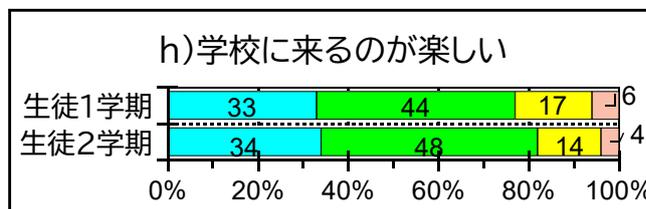
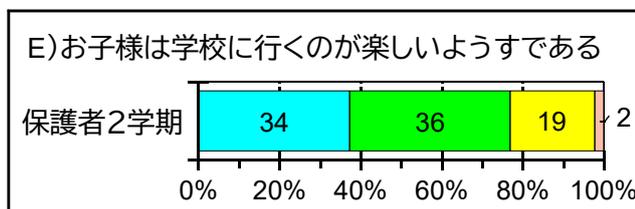
これらのことから、『授業には向上心をもって取り組んでいるが、自分から学ぼうという意欲は減退している』ととらえることができます。

保護者の皆様からも厳しい評価をいただきました。わかりやすい授業づくりに努めているか(グラフD)について、2割以上の方が「(あまり)そう思わない」と回答しています。



これらの実情を受け、12月末、『魅力ある授業をつくるために』をテーマに職員研修会を開催しました。職員一同、授業改善に取り組み、生徒が自ら課題(問いや疑問)をもちながら、考えを伝え合うことで理解を深めたり、解決する喜びが味わえたりする授業を目指していきたいと思っています。

3 楽しさ・自己肯定感を高めるために



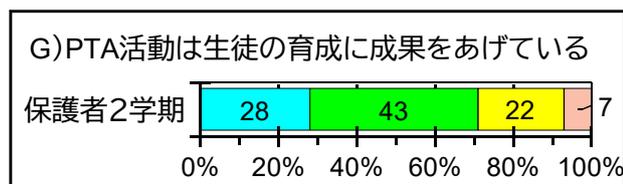
とても重要な項目です。「○○の授業が楽しい」「部活が楽しい」「友だちと話すのが楽しい」…。どんな楽しさでもいいから、学校に楽しさを感じてほしいと願って教育活動に当たってきました。生徒は1学期に比べ

わずかながら増加した(グラフh)ことは大変うれしいことです。しかし、保護者回答(グラフE)を含め、「(あまり)そう思わない」生徒が2割程度見られることは今後の課題だと思っています。

また、自分のよさに気づいている生徒が、1学期より増加していることも1年間の成果のひとつであると感じています。

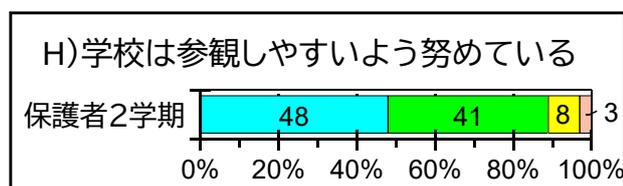
楽しいという感情や自己肯定感、自尊感情は、人生を生きていく上でもっとも重要な感情といっても過言ではないと思います。一朝一夕に向上するものではないと思いますが、変容に気づき、適時に褒めたり、少しハードルの高いものに挑戦させ、成長を実感させたりするなど、今後も、家庭と学校、同じ大人という立場で協力し合いながら取り組んでいけたらと思います。

4 家庭・地域・学校の連携を深めるために

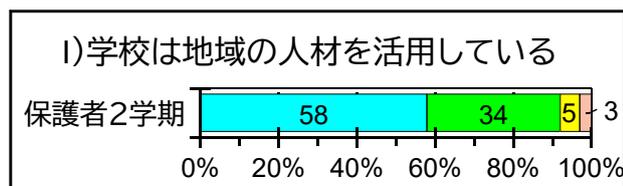


今年度、3回の参観日を設けました。いずれの日も、来校された大勢の皆様には学校の様子を見ていただきました。

また、PTA活動につきましては、三役の皆様をはじめ、すべての皆様にたいへんご尽力をいただきました。資源回収、PTA作業、親子レクリエーション、青木村子育てフォーラムなどなど、たいへん有意義な時間をつくっていただきました。改めて心より御礼申し上げます。



さらに、アイリスセミナー、防災講座、義民太鼓、地域芸能などにおきましては、青木村の豊かな人材を活用させていただき、生徒だけでなく、我々職員にとりましてもかけがえのない経験となりました。



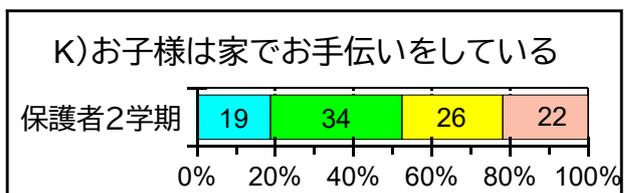
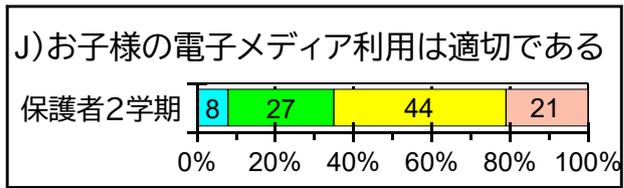
これらはすべて青木中の特色と言えるものだと思います。今後も保護者、地域、学校が連携し、一体となって子育てに当たっていかれたらと思います。よろしくお願いいたします。

5 その他

右の2つの項目は年々下降しています。もはや電子メディアなしでは考えられない世の中になりつつあります。様々な危険性を知っても、適切な利用の仕方について専門科の話を聞いても、やりだすと止まらなくなってしまうところに本当の怖さがあるような気がします。

今、世の中で起きている事件を見ると、以前のように、一部の凶悪な人が起こすのではなく、ごく普通の人々が『巻き込まれる』型の事件が多くなっているように思います。そして、そのほとんどが「SNSを通じて」というきっかけです。

学校の端末については、必要な時のみ担任の許可をとり、持ち出し簿に記入の上、持ち帰ることになっています。その他の目的による家庭での使用については、学校で管理することが難しく、保護者の皆様にお願ひせざるを得ない状況です。一人ひとりの端末はあくまでも借用品であることから、主目的以外での利用はしないよう指導して参りますが、ご家庭でもご指導いただければと思います。



6 いただいたご意見について

○宿題はあるべきだと思います。

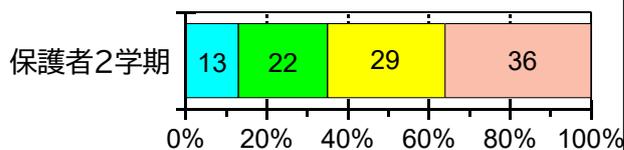
→ 複数の方から同様のご意見をいただきました。

12月末、緊急に開いた職員研修会において話題とさせていただきました。一昔前までは、「漢字1ページ」など毎日決まった宿題がありました。きちんと取り組む生徒もいれば、練習しなくても書けるような

画数の少ない漢字を見つけていくつも書いている生徒の方が多かった状況でした。現在は、そのような機械的な宿題は意味をなさないと考え、『生徒にとって必要感のある課題(宿題)』にしようという考えで進めています。

ですので、以前のように毎日決まった宿題を出す、ということは難しいかもしれませんが、2ページのグラフg、及び右のグラフJからわかる家庭学習(自主学習)習慣の実態をふまえ、『必要感がある』『やる意味のある』課題を適時に提供していく方向で考えています。

J) お子様は家庭学習が習慣的になっている



○参観日の日程を再考してほしい。

→ 11月の第2回の参観日のことを指しているかと思います。確かに、この日は午前公開授業があり、午後が講演会や学年PTAという日程でした。私たちもどのような日程がよいか熟考を重ねました。公開授業を午後にすると、保護者の皆様にとって参観しやすい反面、午後全体の日程がタイトになってしまうというデメリットがありました。また、講演会の講師の先生の時間が指定されていたので、参観授業を午後にした場合、講演会のあと参観授業という流れになり、生徒にとって負担になるのではないかと考えました。最終的に、今年度の日程に決定したわけですが、来年度については改めて検討させていただきます。生徒にとっても、保護者の皆様にとってもよりよいスケジュールを探りたいと思います。

○タブレットの使用制限をしてほしい。

→ 複数の方から同様のご意見をいただきました。

スマホやタブレットとどのように関わっていくかは大きな課題です。学校では、生徒会活動、総合的な学習の時間、各教科等において、文書作成や調べ学習などに使用しています。必要に応じて、生徒たちは自宅に持ち帰り、自宅でも作業しているかと思います。また、現在は、学習動画がかなり進化しており、動画を見て学習内容の理解を深めている生徒もいるようです。

学校では、「主目的とは異なる使用はしないこと」というルールを設定しています。使用制限について、「アプリごとの制限」「使用時間の制限」がどこまで可能なのか、業者に確認してみたいと思います。しかし、たとえば YouTube を学習等に有効活用している生徒もいますし、夜何時までに設定するかについても各ご家庭ごとにお考えが異なるかと思いますので、議論が必要かと思います。

いずれにしても、ご家庭でのお子様の使用状況が適切ではないと判断されましたら、お気軽に担任までご連絡ください。保護者同意が得られれば、お子様については家庭への持ち帰りはしないという方針にすることも可能です。

電子メディアの使用については、今後も学校、保護者で協力し合いながら指導していけたらと思います。

○職員の言動に人権に関わる問題があるのではないか。

→ 複数の方から同様のご意見をいただきました。

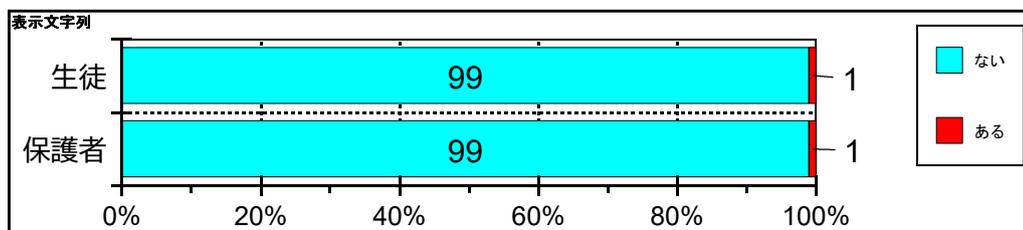
生徒、保護者の皆様の人権を侵害したり、尊厳を傷つける言動は絶対にあってはならないことです。心よりお詫び申し上げます。子どもたちの心は、固まる前のセメントと同じです。言われた言葉は心にずっと残り続けるので、「私は、〇〇というつもりで言った。」では済まされないことだと思っています。

職員も人として、教育者として成長するために、学校では、職員会のたびに非違行為防止研修を実施してきました。生徒への適切な支援のあり方についても研修を重ねています。これからも、子どもたちが、明るい気持ちで登校し、いきいきと活動し、笑顔で帰っていく学校を目指していきます。子どもを育てる同じ大人という立場で、保護者、職員が理解し合い、協力し合いながら歩んでいけたらと思っておりますので、今後も、もし、職員の言動で気になることがございましたら、遠慮なく中学校までご連絡ください。

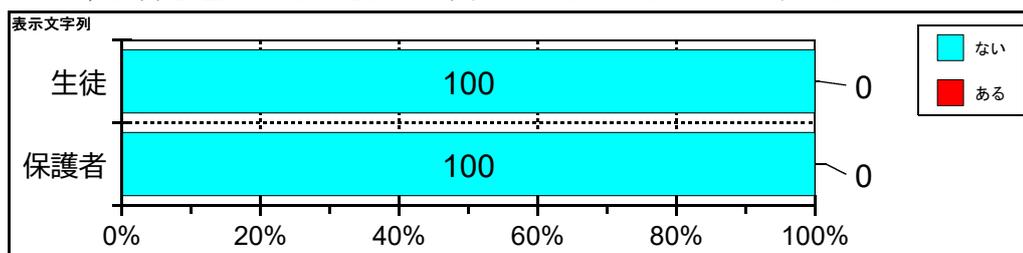
特集 2 体罰に関わるアンケートの報告

回答期間 令和7年12/12（金）～令和7年12/25（木）

質問 1 今年度の4月から現在までに、学校の先生や部活動の外部コーチなどから、手でなぐる、棒などでなぐる、蹴る、突きとばすなどの暴力や、長い時間正座させられるようなことや暴言を吐かれるなどをされたことがありますか。



質問 2 今年度の4月から現在まで、学校において、自分以外の方が、先生や部活動の外部コーチなどから、手でなぐる、棒でなぐる、蹴る、突きとばすなどのことをされたり、長い時間の正座などをさせられたり、暴言を吐かれるのを見たり聞いたりしたことがありますか。



まとめ

体罰に関するアンケートを、本年度はオンライン回答形式で行いました。生徒98%、保護者90%の方から回答をいただきました。結果はグラフの通り、「ない」がほぼ100%でした。ただし、「ある」との回答がそれぞれ1件ずつあり、同一のご家庭からいただきました。概要は、言い方、伝え方を考えてほしいというものでした。該当生徒に状況等の聞き取りとケア、そして謝罪をし、全職員が意識を更新するよう周知と研修を行いました。

このアンケート結果は「ない」が100%でなければなりません。学校としても真摯に受け止め、引き続き、どの生徒も安心して過ごせる学校づくりを進めて参ります。ご心配なことがございましたら、遠慮なく学校までお知らせください。

青木中学校49-2028
相談窓口 武井 康浩（教頭）